



NPO法人いすみライフスタイル研究所が発行する、いすみライフを応援する不定期刊行のニュースレターです。WEBサイト「isumi-style.com」より抜粋してお届けします。

「菜の花ラインに乗り換えて」ロケ地マップ編

いすみ鉄道を題材にしたNHKドラマが放送されたことを、ご存知の方も多いかと思います。もちろん、ここいすみ市や大多喜町でもロケが行われました。どこかで見たことがある風景がドラマに写っていたのではないのでしょうか？

このドラマの撮影に協力させていただきたいいすみライフスタイル研究所が、ドラマの撮影が行われた場所をまとめてみました。いつも目している何でもなかったところが、特別な場所に見えて、面白いかもしれません。

回「菜の花ラインに乗りかえて」とは？

2013年、NHK千葉放送局では、開局70周年を記念して、いすみ鉄道を舞台にドラマを制作しました。

撮影は、2013年4月～5月にかけて行われ、完成したドラマは10月9日(水)22時よりBSプレミアムにて放送。また、2014年1月31日(金)19時30分と2月1日(土)10時5分にはNHK総合にて、ディレクターズカット版が放送されました。3月22日(土)11時からNHKBSプレミアムにて再放送。

先端的な都会性と自然に囲まれた田舎性の「ダブルイメージ」が共存する千葉。両面性があるからこそ、「どんな生き方も許される」不思議な包容性に満ちた土地の魅力があると言います。そこで新たな夢に挑戦する人たちとそれを支える地域の人たちの姿を通して、このドラマでその魅力を描いています。

【キャスト】

- 本多かおり(吹石一恵)
- 神崎和也(石黒賢)
- 鴨川善三郎(梅宮辰夫)
- 本多頼子(浅田美代子)
- 松戸 隆(渡辺正行)
- 市原 優(小川涼)



【ストーリー】

美しい田園や里山を縫いながら房総半島をゆっくり横断するローカル鉄道。

その運転士に挑む元国際線キャビンアテンダント、本多かおり。恋も仕事も順調だった彼女に襲いかかるリストラ、失恋など不幸の数々。失意の中、帰省したかおりが出会ったのは、少女時代に乘った懐かしい黄色の列車だった。

かおりは貯金をはたいて訓練費700万円を捻出し、鉄道運転士を目指す一大決心をする。果たしてかおりは新たな夢をかなえることができるのか？ 菜の花に包まれた美しいローカル鉄道の風景を舞台に描く、大人のメルヘン。



回いすみといすみ鉄道の魅力

NHK 千葉放送局・秋満吉彦ディレクターインタビュー

NHK千葉放送局70周年の記念事業として、地域発のドラマを制作することになりました。

今回の題材のヒントになったいすみ鉄道の鳥塚社長には以前からとてもお世話になっています。ローカル鉄道を盛り上げたいという熱い思いをいつも感じますね。

ドラマの基本設定は今回演出を担当するドラマ番組部の監督・吉川邦夫や脚本家の真柴あずささんとの雑談から色々広がっていきました。成田空港があるから主人公は元キャビンアテンダントがいんじゃないかとか、大多喜町に酒蔵があるから実家にしようとか。登場人物の名前も千葉県内の地名とかけているので、見てみるとおもしろいですよ。

千葉県内でも、あえて都会から離れ、自然の豊かな地域へ移り住む若者が増えてきているように思います。以前、東京から移り住んだ若い方の取材の中で「幸せを測るモノサシは人それぞれ違うような気がします。」といていたことがとても印象的でした。今までは収入が増える、出世することで、それが幸せなこととされていました。

が、それが全てではなくなってきている。人それぞれ「幸せのモノサシ」を持っていて、1つのパターンでは表せない。そんな多様なものが、東京に近いという距離感もあって、千葉では生まれやすいのではないのでしょうか。

「都会的なよさ」、「田舎のよさ」のどちらかを諦めたり、どちらかを選ばなければいけなかったりではなくて、どっちも満たしてくれる。都会のセンスが古き良きものと程良くミックスされていて、今までなかったものがある。それを楽しむ人がいる。元気のあるところに人が集まりつつあるのかもしれない。知られていない故の良さが千葉らしさなのかもしれません。



菜の花ラインに乗りかえて ロケ地 map

大多喜ハーブガーデン

約 600品種ものハーブに触れ、味わい、自然のままの姿を觀賞できる大多喜町にあるハーブ園。園内にあるガーデンレストランで、主人公の本多かおり(吹石一恵)が当時の彼にプロポーズされるシーンが撮影されました。当日撮影が決まったにもかかわらず無事に撮影できたという「大逆転ロケ」の伝説が生まれました。

営業 10:00~18:00
住所 千葉県夷隅郡大多喜町小土呂255
P あり
HP <http://www.herbisland.co.jp/>



●ハーブアイランド
ベジタブルガーデン

大多喜ハーブガーデン

横山交差点

白山台交差点

泉水交差点

城見ヶ丘

船子交差点

豊乃鶴酒造

大多喜
大多喜小
いすみ鉄道



大多喜駅



大多喜駅

大正元年(1912年)に県営人車軌道線(大原~大多喜間)の開業に伴い、設置されました。ドラマでは、帰省したかおりが駅に降り立つシーンや、停車中の車内のシーンなど様々な場面で登場します。かおりが「ただいま」とつぶやいた本多忠勝像にも出会えますよ。

住所 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜264
TEL 0470-82-2161
P 有料(町営久保駐車場)



上総中川駅

上総中川

行川交差点

大野入口交差点



上総中川駅

国吉駅と城見ヶ丘駅の間にある無人駅。通りに看板がないのでうっかり見落としてしまわないように気をつけて。市原優(小川涼)が下車する駅の撮影が行われました。

住所 いすみ市行川705-1
P なし

豊乃鶴酒造株式会社

大多喜城下の銭神地区に天明年間の創業と伝えられています。明治7年、現在地に今も使っている母屋などが建築され、古きよきたたずまいを残しています。ドラマでは、かおりの実家の造り酒屋という設定で登場しています。見学不可。お酒の購入は可能です。

住所 夷隅郡大多喜町新丁88
TEL 0470-82-2026
P 3台



いすみ市商工会館夷隅支所

国吉駅舎内にあるいすみ市商工会館でも撮影が。普段は商工会夷隅支所の事務所ですが、ドラマ訓練生達の面接シーンに始まり、学科講習を進行さんが訓練生達に合格証書を渡すシーンが描かざみ鉄道職員として当 NPOメンバーもエキストラ

住所 千葉県いすみ市苅谷535-3
TEL 0470-86-3105
HP <http://www.isuminavi.jp/>

※見学は外観のみ可。

井戸長踏切

総元駅と西畑駅の間にあるうっそうとした木々を抜けた先にある小さな踏切。トラックが脱輪し荷物が散乱、車両の運行の邪魔をしてしまうシーンの撮影が行われました。

住所 千葉県夷隅郡大多喜町百鉢 井戸長踏切
P なし



上総中野

西畑

465

踏切

総元

久我原

東総元

小谷松

八声交差点

いすみ医療センター

いすみ市の中核病院として平成21年に開院（旧国保国吉病院）。

ロケでは市原優（小川涼）が電車内で倒れた後、病院のベッドでかおりたち訓練生と面会するシーンで使われました。面会が終わって病院から出てくるシーンではいら研スタッフが扮する看護師が遠目に見えるかも!?

住 千葉県いすみ市刈谷1177番地
 電 0470-86-2311
 HP <http://www.kuniyoshi-hp.jp/index.html>
 P あり

※駐車場あり。病院内の見学はご遠慮下さい。

ブラウズフィールド

慈慈の邸（じじのいえ）

農を中心に、循環型生活を目指すブラウズフィールドが営む自然素材の古民家造りの宿。

神崎和也（石黒賢）や鴨川善三郎（梅宮辰夫）たちが暮す古民家シェアハウスとして使われ、訓練生達が歓談するシーンが撮影されました。

住 いすみ市岬町桑田1815-1
 電 0470-62-5401
 HP <http://www.jijinoie.com/>
 P ブラウズフィールド駐車場

※見学はカフェ「ライステラス」の営業時間内可（金土日）



国吉駅

いすみ鉄道の無人駅。ムーミンショップが併設されています。菜の花やあじさいなど四季折々の花が見れます。ホームの向こう側にある場では様々なシーンが撮影されました。

住 千葉県いすみ市刈谷537-2
 P あり



大原駅

JRといすみ鉄道の接続駅。いすみ鉄道のホームに隣接している売店では、い鉄グッズが販売されています。かおりの母、本多頼子（浅田美代子）がお弁当を納品する売店として撮影が行われました。

住 いすみ市大原8701
 P なし



れました。「かざみ鉄道」の事務所に早変わり。シーン、かざみ鉄道社長役の渡辺正演しました。

撮影の現場から

俳優さんの気遣い編

撮影が行われていたのはまだまだ寒さの残る4月。いすみ医療センターでの夜の撮影では吹石一恵さんからあったかいコーヒーの差し入れを発見。また、国吉駅では梅宮辰夫さんからのお菓子の差し入れも発見。撮影最終日のクランクアップには、梅宮辰夫さんから『辰ちゃん漬け』が、スタッフ・関係者に配られていました。たまたま私たちが見つけたもの以外にも、撮影の合間に、スタッフに気軽に声をかけねぎらってくれる俳優の皆さんの温かな気遣いが、現場の雰囲気をととてもよくしているように思いました。



舞台裏 (スタッフさんの活躍) 編

ドラマをつくりあげるのにたくさんのスタッフ関わっていました。カメラマンさん、音声さん、衣装さんやメイクさん、大道具・小道具さん、専属のドライバーさん、ADさんやエキストラさんなど、その数約50名。撮影現場におじゃまする度にドラマの中では全く出てこないスタッフさんの活躍を見ることができました。たとえば、いつも利用しているいすみ鉄道大原駅にある売店。たくさんの掲示物があるのですが、大道具さん達が全て張り替え、商品も入れ替えていました。撮影班よりも一足早くに現場入りし、スムーズに撮影がはじめられるよう、テキパキと空間をつくりあげて行く様子に驚きでした。



撮影の様を見守るスタッフさんたち

素早く飾り付けをするスタッフさん

小道具編

この撮影のためにだけ用意された小道具もたくさんありました。ドロップやもなか、タオル、駅弁など、まるで実際に売っている本物のようでびっくりです。ドラマの中に出てくる妖精「カザーミン」も、社内の看板や駅弁のパッケージなど随所で見つけることができました。ドラマ中の鍵となる訓練生の運転士認定証も発見しました。



「本田忠勝君ドロップ」

「かざ味もなか」



「キハ萌え」タオル

駅弁「かざみ山」



「カザーミン」のイラストが付いた駅弁

かおり達もらった運転士認定証



「カザーミン」のイラストもあちこちに



編集・発行 NPO法人いすみライフスタイル研究所

〒299-4692 千葉県いすみ市 岬町長者549 (いすみ市役所岬庁舎内)

J R外房線長者町駅下車徒歩10分

平日・土曜日 9時～17時まで Tel 0470-62-6730 Fax 0470-62-6731

Website <http://www.isumi-style.com>

E-mail isumi-style@bz03.plala.or.jp

2014年 春 増刊1号 不定期発行 発行責任者 君塚正芳

メールマガジン「isumi-style通信」は、携帯からも購読できます。

QRコードからアクセスして、お申し込みください。



【会員募集中】

当NPOでは、持続可能な地域づくりに向けて、一緒に活動する、又応援してくれる会員(正会員・賛助会員・サポーター会員)を募集しています。

詳しくはサイトをご覧ください。NPO事務所にお問い合わせください。